

やさしさ・活力・夢のある原村に

牛山村政スタート

任期満了に伴いおこなわれた原村長選挙(7月30日執行)の結果、牛山貴広氏が当選し、8月8日に初登庁しました。任期は4年間、村は新たなリーダーのもと未来へと歩み始めます。就任したばかりの牛山新村長に現在の気持ちや抱負など、これからの村づくりについて伺いました。

——当選証書を受け取られた、現在の心境を聞かせてください。

住民の方々の命と財産を背負うという重責に、改めて身の引き締まる思いです。選挙中は多くの方に支援をいただきましたが、それは期待の表れだとも思います。「良い村になるように」「何かやってくれそうだ」という期待に応えられるよう、一歩を踏み出したいと思っています。

——これまでスケートや競輪など厳しい勝負の世界に身を置かれていましたが、そのご経験をどのように生かしたいとお考えですか。

スケート競技では1シーズン中では全日本選手権大会、長期的な目線では4年間隔のオリンピックへ照準を合わせ、予定を組んでトレーニングを行います。これを細分化していくと「この1年や、1ヵ月でやること」「今日やること」が見えてきます。「目標に向かって、今何をやるか」という取り組みは村政でも同じだと思います。

——牛山村長は高校卒業とともに原村を離れ、5年前に戻ってこられましたね。村の外に出て

気付いた村のよさや魅力はありますか。

スケートでは転戦でヨーロッパ各国やアメリカ、カナダ等を回りました。競輪場は全国に43ヶ所あって北海道から九州まで移動するので、国内外含めて多くの地域を見てきました。こうして戻ってきて感じるのは、空気がきれいなことや水道水がおいしいこと、高校卒業まではあたりまえと思っていたことが村の大きな魅力なんだと再認識しました。観光地として著名な場所もいくつも訪ねましたが、原村も負けていないと思います。「街の住みこころランキング2023・甲信越版」で1位になるなど、原村の魅力は多くの

に認められています。「有名な何か」ということではなく、トータルとして村のよさが浸透しているのだと思います。しかし、「現状を維持しよう」という姿勢ではやがてその魅力は減退してしまいます。新しいものやバージョンアップを考え、さらなる魅力を持たせることが必要です。

——牛山村長が村内でお気に入りの場所はありますか。

八ヶ岳が最も格好よく見える

のは原村だと思っていますが、中でも気に入っているポイントがあります。臥竜公園北側の農道は周囲が開け、初夏には道脇にヤマボウシの白い花が咲いています。このあたりから八ヶ岳を望む風景がとても好きです。

——「4人の子どものお父さん」という現役世代のお一人でもあります。その視点から感じることはありますか。

1歳の子どもの未来を考える一方で、高齢の祖母の心配も世代のひとりです。福祉や介護について「高齢者は地域で看る」というマインドになってきていると思います。困れば助けてく

れますし、お願いすれば受けてもらえます。一方子どもについては、まだ「地域で子ども達をみる環境が整っていない」と感じます。若い世帯や働くお母さんも暮らしやすい環境づくりを考えていかなくはなりません。

——公約に「みんなの知恵と力で村づくり」を掲げていらっしゃいましたが、若い世代の政治参加をどうお考えですか。また、具体的に住民の声をどんな風に拾いたいとお考えですか。

私自身が42歳で手を挙げたことにより、同年代の方々が興味を持ってくれました。「政治に関心を持った」とか「公約を比

——住民のみなさんにメッセージを。

選挙中には多くの方々から様々なご意見をいただきました。村の課題は本当に多いですが、一歩一歩進んでいきます。「住む人にやさしく、活力があり、夢を持てる村」を目指してがんばります！

第1回 移動村長室

問 総務課 総務係 ☎79-7922 (直通)

これまで開催していた「むらづくりふれあいトーク」を「移動村長室」と名称を変え、村長と直接意見交換ができる機会を設けます。役場村長室での開催に加え、村内の各所に村長が出向き、皆様と懇談します。原村をより良くするため、皆様のご提案をお寄せください。※事前に申込が必要です。

- 日時 10月19日(木)午後1時30分~午後6時30分
- 場所 村内のご希望の場所及び役場2階村長室

令和5年7月30日執行 原村長選挙

〈投票状況〉

有権者数 6,673人
投票者数 4,077人
投票率 61.1%

〈開票結果〉

[当選] 牛山 貴広(無所属・新) 2,915票
小林 千展(無所属・新) 1,113票

無効票 49票

問 原村選挙管理委員会 ☎79-7951

新村長に聞いてみました

牛山貴広はこんな人

●これまでの経歴は

スケート靴を履いたのは3歳、氷上デビューは原小の校庭リンクです。高校(諏訪清陵高)にはスケート部がなかったのですが、担任の先生が同好会を設立し、後押ししてくれました。大学は当時一番スケートが強かった明治大学へ進学。2006年トリノオリンピックに出場した後、競輪選手に。茨城県を拠点に選手生活を送ってきましたが、2019年に故郷である原村に戻ってきました。

●ご家族構成を教えてください

妻と子ども4人の家族です。長女(10歳)、二女(9歳)、長男(7歳)、三女(1歳)で休日は子どもの面倒を見たり、家族と過ごしてる時間が多いです。

